DIGITABLE 第 95 回勉強会レポート

2016年5月21日 於:江東区亀戸文化センター 第2会議室



正会員写真家山崎健二郎氏が、5月14日に永眠されました 心よりご冥福をお祈りしもうしあげます(通夜式で山崎氏の遺作を囲んで)

Digitable 基礎講座「Photoshop での明るさ調整」:高木大輔講師 参加 者全員による"ライトニングトーク" Photoshop 研究講座「写真集を作ろう①」:平野正志講師 DIGITABLE 写真技術勉強会 (HOME) http://www.digitable.info

正会員写真家山崎健二郎氏が、5月14日に他界された 勉強会冒頭、参加者全員で山崎氏を偲び黙祷を行った

DIGITABLE2016 デジタルフォト基礎講座 第2回 Photoshop での明るさ調整:高木大輔講師

■ Photoshop での明るさ調整の基本はレベル補正と トーンカーブで、1990 年リリースの Photoshop1.0 か ら搭載されていた。当時はデジタルカメラ以前の時代 で、まず主にスキャニングされた画像の"入力レベル" を調整する必要があった

■「トーンカーブ」は、補正前のデータ値(入力レベル) と補正後のデータ値(出力レベル)の変化を線で表し たもので、その線を調整することで画像の階調、色調、 コントラスト、彩度といったほぼ全ての要素をコント ロール出来る。「レベル補正」や「カラーバランス」な どは他の機能でも同じことが可能だが、トーンカーブ の機能は他の機能では補うことが出来ない

■調整レイヤー上の明るさ調整には「明るさ・コント ラスト」「レベル補正」「トーンカーブ」「露光量」の4 つのコマンドがあるが、大きな補正に関しては、やは りレベル補正やトーンカーブの優位性がある

■調整レイヤー上には含まれていないが、色調補正の項目 の最下段に「平均化(イコライズ)」というメニューが搭載 されている。平均化(イコライズ)は、明るさのレベルの 範囲全体を均等に表すように、画像のピクセルの明るさの 値を再分布するもので、使い方によっては特殊な効果を発 揮することも可能だ…



山崎氏との30年以上に亘る交友の思い出を語る高木大輔代表



Photoshop1.0 から搭載されていたレベル補正 現在とほぼ変わらない機能が備わっていた



平均化(イコライズ)は、使い方によっては特殊な効果を発 揮する

参加者全員による"ライトニングトーク"

① NY 会員:カメラで "撮られる" ポジションとスタイルの 一工夫について

② IS 会員:マグナム展でのワークショップ参加報告等 ③ EY 会員:ゾーンプレート共同製作の提案等々

④ IF 会員:閉幕した「juku いまさら」展のスライドショー報告,
⑤ TN 会員:水田と里山風景撮影による、階調表現の工夫
⑥ IH 会員:ホワイトホース(カナダ)でのオーロラ撮影紀行②、 長時間露出とホワイトバランスについての談義等々
⑦ Shirasy 会員:Web サイトでのコンテンツ要素に関する考察。文書、パーツ、視覚アセットとしての写真(さらに info pict としての写真と感覚的な写真)、movie、イラスト…
⑧ KM 会員:趣味の声楽活動と大学での勤務近況等々
⑨ T 講師:シグマから借用した dp3 でのスタジオ撮影報告 …etc.

研究講座「写真集を作ろう①」

平野正志講師

11月の展覧会までに手作り写真集を製作、その作り方を解説 していく。各自ページ数を決め、それぞれ小部数印刷したものを簡易製本で仕上げていく予定だ…

■デジタルカメラ撮影などデジタルデータからの取り込み、 フォトショップに必要サイズの背景を新規作成し、レイヤー で一枚一枚を取り込む…

■調整を終えた画像は印刷に入る。製本は左綴じとして綴じ の方向を決めよう。印刷もフォトショップ上から行うが、プ リントオプションはデフォルトでは用紙中央に印刷となって いるので、「綴じ代」分を左から何センチといった具合に調 整する。横位置写真と縦位置写真で左からの距離を変え写真 の配置をしてゆく…

■ページの作成は、綴じ方法とも関係するが、用紙を中央で 綴じるような方法では、フォトショップではページ配置が複 雑になる。インデザインなど、編集レイアウトソフトを使用 すると簡単に自動でページ配置がされ、楽に印刷工程へと移 行できる…







手作り写真集の製作について解説する平野講師



印刷もフォトショップ上から各自が行う予定